



四宮小学校・北巢本小学校 設立準備会

準備会だより

No. 5

令和6年12月発行
門真市教育委員会

HPからは、カラーでご覧いただけます

通学路の試し歩きの報告・学校の校名は？

11/22（金）に第5回 四宮小学校・北巢本小学校「設立準備会」を開催しました。今回の準備会では、通学路について、10月25日の試し歩きでの意見をもとに通学路案を一部変更した旨を報告し、委員からご意見を伺いました。また、校名等の方針については市の考えを報告しました。

通学路（試し歩きの結果をもとに再度検討をしました。）

10月25日（金）に学校・保護者・準備会委員・教育委員会などで、通学路の試し歩きを実施しました。また、当日は門真警察や市の道路公園課の職員にも参加していただき、新たに通学路に設定しようと検討している箇所を中心に一緒に歩いて確認いただきました。そして、当日にいただいた意見をもとに、今回の準備会で再度通学路の検討をしました。



新通学路の修正提案①

・宮前町東の交差点は信号点灯時間が短いこと、同じく信号点灯時間の短い第二京阪道路を横断することに課題がある。



・若干の遠回りとなるが、宮前町の交差点を使用する。

新通学路の修正提案②

・北巢本小南門は学校側の安全管理の観点に課題がある。



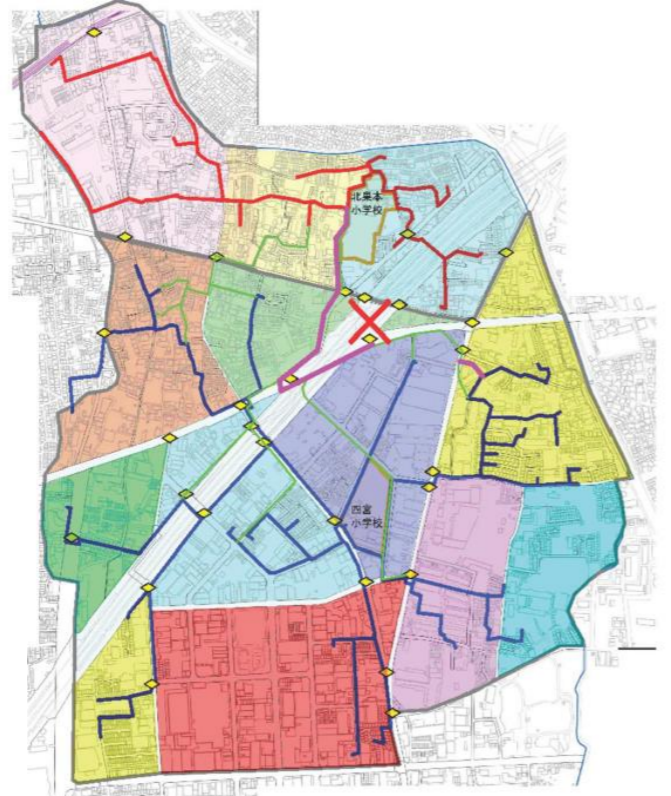
・北巢本小南の交差点から遊歩道を北上し、北巢本小西門から入る経路を使用する。

新通学路の修正提案③

・巢済地区の子どもたちは北岸和田1丁目南側の道路を使用する。



・南側の道路のほかに、直接交差点付近にできる細道も使用可能とする。



修正案通りで通学路案とすることとなりました。今後来年度にかけて安全対策を進めるとともに、児童による登校練習などを行い学校や保護者の皆さんを中心に最終的に修正案も含め、再度ご確認いただいた上で、令和8年度より通学路となる予定です。

校名（方針）

校名を考える上で検討したポイント

ポイント1 統合


1 統合は令和8年4月を予定



統合は約1年半後の**令和8年4月**を予定しています。

ポイント2 新校舎の場所


2 新校舎は現四宮小学校敷地に



新校舎は現四宮小学校敷地に建設する予定です。**R10年度末竣工**、**R11年4月移転**を想定しています。

ポイント3 新校舎が完成するまで

3 R8以降の3年間は、現北巢本小敷地に通学



現四宮小学校敷地に新校舎を建設する関係から、**R8、R9、R10年度の3年間**、現北巢本小学校敷地に通学します。

ポイント4 これまでの学校の変遷

4 旧村の4校には約150年の歴史



旧村（門真・大和田・二島・四宮）から学校分離してきた歴史があります。

ポイント5 第四次学校適正配置審議会（答申）

5 学校の再編にあたっての基本的な考え方

(2) 「これからの時代、これからの門真」に向けての検討

「これからの時代、これからの門真」に対応した学校づくりについては、市全域の学校で考える必要があるため、短期的、中期的、長期的に門真の学校をどのように再編していくのかということ適切な順序で検討していく必要があるのではないかと。その際、門真の小学校は、**旧村の4つの小学校（門真小学校、大和田小学校、四宮小学校、二島小学校）から分離設置されてきた歴史や、これまでの再編の経緯も考慮しながら～**

裏面に続きます

これら以外にも、

○新しい学校の基本コンセプト（整備基本計画より）

学校＝「子どもと地域がつながる場所」

○前回までにいただいた設立準備会各委員からのご意見

○地域等からいただいているご意見

○市役所内での意見・第3次の学校適正配置の経緯

などを参考に市としての校名の方針を報告しました。

学校の校名は、「四宮小学校」となります。

ポイント1

四宮小学校の歴史や思い・北巢本小学校の歴史や思い両方を大切にしたい学校に

ポイント2

四宮小学校の学校分離の歴史から北巢本小学校は再び四宮小学校に

令和8年度までに両校の子どもたちに対してできること

四宮小学校

学習環境の変化へのケア （校舎の変更など）

- ⇒ 児童・教職員ともに北巢本小へ訪問する機会を増やす。
- ⇒ 教育活動や教育課程で可能なものについては北巢本小とそろえる。など

通学環境の変化へのケア （通学路の変更など）

- ⇒ 令和7年度から地域や保護者の方々の協力も得て、登校練習を実施する。

など

北巢本小学校

学習環境の変化へのケア （児童数の急激な増加など）

- ⇒ 水泳の民間委託のように、2校合同での授業や行事などを行う機会をより一層増やす。など

北巢本小校舎での校名変更へのケア （「四宮」を知る、北巢本小をふりかえる）

- ⇒ 「四宮」ができた背景やその当時のことなどの歴史について社会や総合の時間などに地域の協力をいただきながら調べたり、実際に出かけたりしながら、150年以上続く、四宮には、北巢本の地域も含まれていることを知る。

- ⇒ 北巢本小としての学校生活や歴史をふりかえったり学んだりする。など

このほかにも、子どもたちに対してできることがたくさんあります。令和8年度からの環境の変化等へのギャップを少なく、子どもたちが安心・安全に学校生活を過ごすためには、学校や教育委員会だけでなく、地域や保護者のご協力が不可欠です。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

委員からの主な意見

前は「公募がよい」と準備会で個人的に発言しましたが、地域に戻って改めて地域のみなさんの意見を聞くと、やはり「四宮」という校名を残してほしいという声が非常に強かった。学校評議員ではあるが、地域の立場でもこの準備会で参加していることを踏まえ、前回の発言を撤回したい。



私も前回の準備会后、改めて自治連合会の際に、校名について自治会長たちに伺ったところ「四宮小学校」という校名を残すべきだとなった。「四宮小学校」で行くという方向性で私もよいと考えます。



○私は納得できない。前は「公募」との発言も多くあり、「公募」をして、思い入れのある校名を子どもたちが決められると思っていたので、非常に残念です。

○令和8年から3年間は北巢本小学校の校舎で、四宮小学校になるということになります。事務局から子どもたちのケアについての説明がありましたが、これだけでは、まだ不十分だと思います。

○「四宮」の歴史や地域の思いも分かるが、未来ある子どもたちに、そこまで歴史にこだわる必要があるのか。あと1年で北巢本小学校がなくなることを子どもたちにどう伝え、どう準備すればよいのか…



令和8年度から新校舎が建つまで、現北巢本小学校校舎で過ごす一定期間は「四宮・北巢本小学校」のようにするなど柔軟な考えはできないか。



北巢本小学校の子どもたちの配慮になるとは 到底思えない。



これは統合ではなく、吸収なのではないですか。北巢本小学校はどうなるんですか。



（教育委員会）

法的な手続きでは、「閉校」という形になります。教育委員会としては、校名の事務手続き上、このような形となりますが、統合にあたっては両校の特徴や取組を活かした学校を創っていきたいと考えています。

当初から「統合」と聞いていたので、校名も2校の校名以外の校名を「公募」するなどができるのではないかと考えていたので残念です。これ以上議論しても…とも思いますし、地域の思いや歴史を大切にしたいのも理解はできます。私としては、ただ残念です。



この準備会の中でも四宮小にすることに賛成の人もいれば、反対の人もいる。約10年前に再編案が出た際のこととあって、今に至っている。PTAとして、子どもを第一優先にするのは四宮も北巢本も同じ。ただ、四宮小学校の校舎は限界にきている。約10年前の再編案が出たときのことを知っている身として、今回の「校名」で万が一揉めて、建設スケジュールが延びるようなことになることは、子どもたちのためにも避けなければいけない。



（教育委員会）

校名は「四宮小学校」とする方向となりますが、今回の準備会でいただいた意見も踏まえ、保護者の皆様に説明をする場を設けることを検討するとともに、子どもたちにできる準備やケアなどについても引き続き検討してまいります。

担当・お問い合わせ先

門真市教育委員会事務局 教育企画課

電話：06-6902-5779（直通）

メール：kyk02@city.kadoma.osaka.jp



右のQRコードからもご意見可能です！

